

単元名 まとまりに分けて、お話を書こう

配当時間 10時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。
(2) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って、簡単な構成を考えることができる。
(3) 事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、物語を書こうとする。

標準的な展開例

02010218_001

【教材名】お話のさくしゃになろう

(下 P.71～P.75)

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教材文を読み、絵本作りの見通しをもつ。 ★お話の作り方について知ろう。 ○今までに学習した物語の題名と作者を思い出す。</p> <p>○教科書(P.71)を読んで、学習の進め方を知る。</p> <p>2～4 絵を見て、お話を考える。 ★絵を見て、どんなお話にするか考えよう。 ○登場人物や出来事を考える。 ○出来事の例を提示したり、「中」「おわり」の場面を描いたりする。</p> <p>5～6 まとまりに分けて、お話を説明する。 ★まとまりに分けて、お話を説明しよう。 ○「はじめ」「中」「おわり」の内容を考える。</p> <p>○絵を見せながら、友達に考えたお話を話す。</p> <p>7～9 お話を書く。 ★お話を書こう。 ○書き出しを考える。 ○教科書(P.74)「お話のれい」を参考に、適切な言葉を考えながら書く。</p> <p>○自分のお話を見直し、間違いを直す。 ・誤字、脱字 ・文のねじれ ・分かりにくいところ</p> <p>○題名を付ける。</p> <p>10 書いた話を読み合い、学習を振り返る。 ★みんなで話を読み合い、感想を伝え合おう。 ○グループで交換して読み合い、工夫しているところを話し合う。</p> <p>○教科書(P.75)「ふりかえろう」や「たいせつ」を読んで振り返りをする。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・「スイミー」「ミリーのすてきなぼうし」「お手紙」などの教材文を想起させ、物語のイメージをもたせる。</p> <p>・挿絵を見て、物語の基本構成を確かめる。</p> <p>・「はじめ」の挿絵から、二人がどのような人物か、どのような出来事が起こるかを考えて物語を書くことを伝える。</p> <p>・知多の友(P.35)を活用する。</p> <p>・会話文やあらすじを自由に作っていける楽しさを感じ取らせる。</p> <p>【評】お話作りの活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】物語の構成を考える活動を通して、自分の思いや考えを明確にする「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・知多の友(P.36)を活用する。</p> <p>・会話文も入れながら、知多の友(P.37～)に書かせる。</p> <p>・人物が言ったことが分かるように書くことを押さえる。</p> <p>・習った漢字をできるだけ使い、正しく書くようにさせる。</p> <p>【評】お話作りの活動を通して、身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で正しく使う「知識・技能」を評価する。</p> <p>・知多の友(P.41)を活用する。</p> <p>・知多の友(P.42)を活用する。</p> <p>・クラスだけでなく、2年生の他のクラスや1年生に読み聞かせてもよい。</p> <p>・会話文があることや場面のつなぎ言葉が入っていることの効果を確かめさせる。</p> <p>【評】工夫を話し合う活動を通して、自分や友達の文章のよいところを見付ける「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・知多の友(P.41)を活用する。</p> <p>・知多の友(P.43)の作品を紹介し、学習をまとめる。</p>

【 備 考 】